

2012年10月18日(木)

OKNN02

ホ-143-6測定, 入射角 $\Omega = 7^\circ$ 固定2 θ : $-2.00 \sim 29.98^\circ$, 0.005° ステップ

計数時間3s

03:10'25" 測定開始

10:17'56" 終了

7h07min31s

⇒ MDS20121017-5.pxp2 $\theta = 24.48^\circ$ のピーク tⁿ -) 中入射角 = 測定 ϕ : $0^\circ \sim 360^\circ$, 0.8° ステップ

計数時間3s

10:17'57" 測定開始

10:52'43" 終了

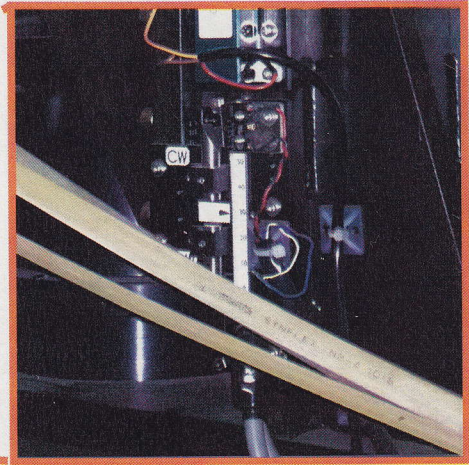
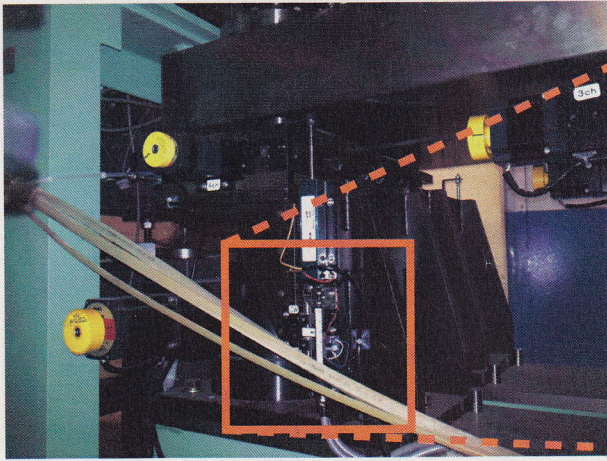
34min46s

⇒ MDS20121018-1.pxp

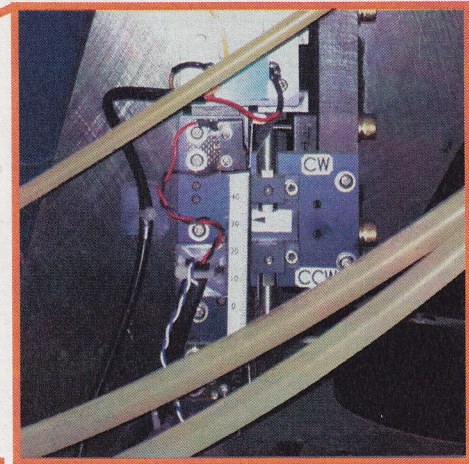
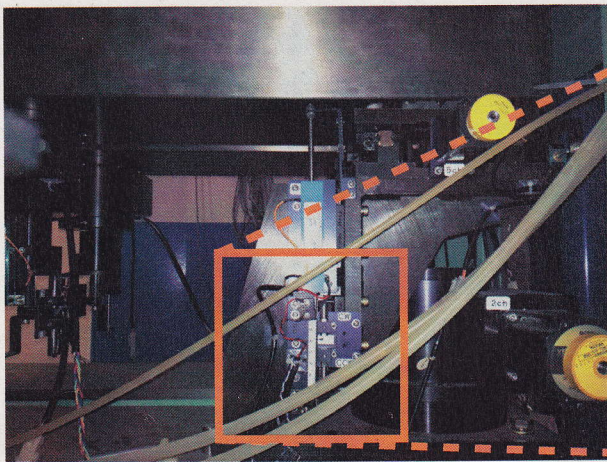
○ BL-4B 集光ミラー - 目安スケール設置

get para

	param	Ch	pulse
TEM	10.9062°	0	-392624
ZZ	12.7299mm	1	280.607
OTH2	0.2364°	2	8.510
MFV	30.46mm	4	152.300
MRV	32.58mm	5	-162.900
MFH	6.629mm	6	13.258
MRH	10.160mm	7	20.320
BNT	0.000mm	8	0



ミウ-上流側



ミウ-下流側

ポジションセンサーが怪しい (c.f. p.62) の2". 架台 = スケール (7mm x 62mm x 1.5mm Al板 + コット用紙 + クリスタル) を貼っつけた。
 $MRV = 30.5 \text{ mm}$, $MRV = 32.6 \text{ mm}$ とちがう
 めのこびアークを貼っつけた。

○ KNN③

測定条件は KNN①, KNN②と同じ

11:10'30" 測定開始
18:18'04" 終了

⇒ MDS20121018-2.pxp

20 = 24.488° 最終位へ 2^重 垂直測定

φ: 0° ~ 360°, 0.8° ステップ

計数時間 3s

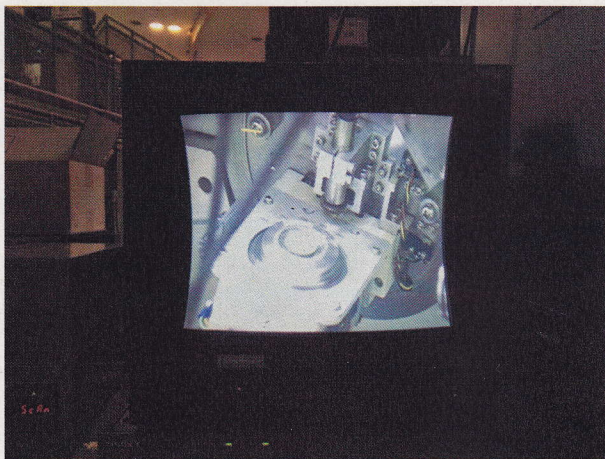
18:18'05" 測定開始
18:52'51" 終了

⇒ MDS20121018-3.pxp

○ 監視カメラを用いた不具合の調査

垂直同期がとれず 状態が不安定

たとえば電源ケーブルと線がぶつかる



3線のはじめ
挿入して垂直同期
ととれずになった
みたい。ツツミ
ムキヤクチャ 鼓型に
正しくないと...

○ 4B2 作業スペース変更の準備

BL-4B1 廃止にともない、4B1-4B2 間を
4B1 が占有していたスペースに空けた。

4B2 のテリトリを 4B1 側におとし、

今までの半分くらいを 4C に分けたい

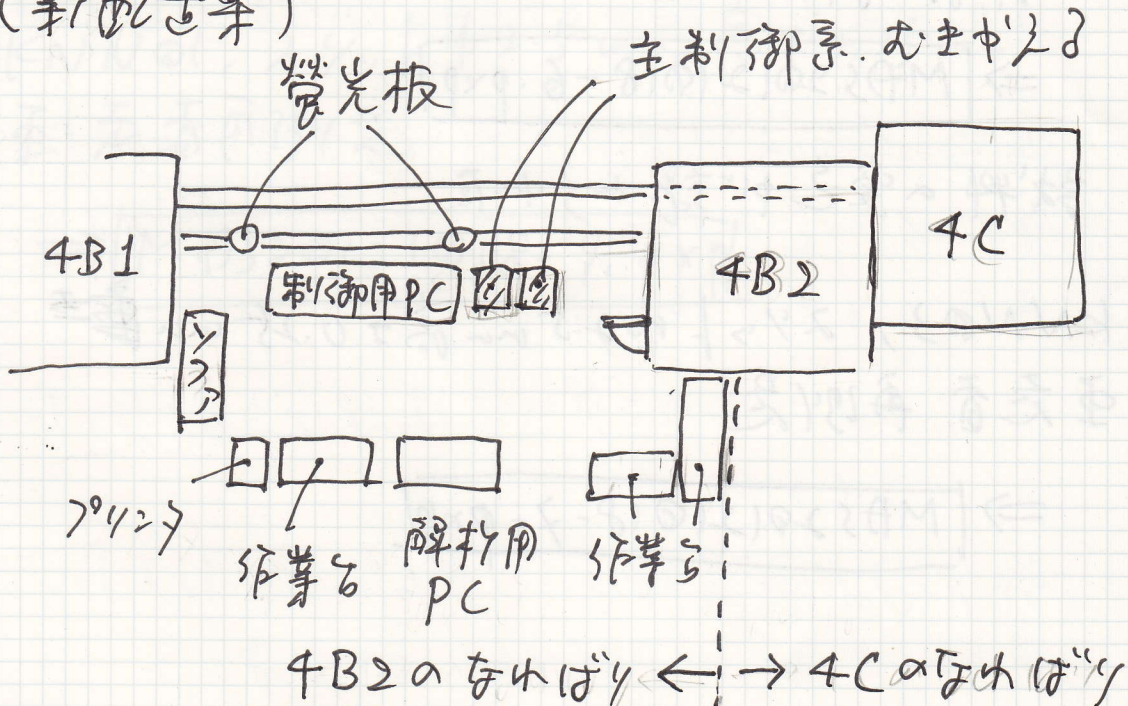
とのこと (by 中尾氏) 4C のテリトリが
狭い、たあ...

とつよぶ 解析用 PC 群を 4B1-4B2 間の
両袖机に移した。

ついでに古い制御系 (HPD-マスターユニット)
をと、ほろろ、両袖机の裏にまとめておいた。

古い 4B2 ロゴボックスを両袖机の右下の
31 まで出しにしておく。

(新配置案)



○ KNN04

測定条件は KNN01 ~ KNN03 と同じ

19:19'29" 才 - 1.5 - 6 測定開始
 02:26'11" 終了 } 7h06min42s

⇒ MAS20121018-4.pxp

20 = 24.5° (付いた α だけ) 2- 垂直直測
 計測時間 3s / step

02:26'12" 開始
 03:00'57" 終了 } 34min45s

⇒ MAS20121018-5.pxp

2% 以内 ± 0.5 mm 高さ ± 0.25 mm と 12
 点 垂直直測

計測時間 1s と 2s

⇒ MAS20121018-6.pxp

試料 α 変化の記録が 4 点。

○ KNN03, 2% 以内 ± 0.5 mm 高さ ± 0.25 mm
 垂直直測

⇒ MAS20121018-7.pxp



KNN04

○ KNN02, 24, 1/2 中 2.5mm, 高 ± 0.25 mm
重走青再測是

⇒ MAS20121018-8.pxp

○ KNN01, 24, 1/2 中 2.5mm, 高 ± 0.25 mm
重走青再測是

⇒ MAS20121018-9.pxp

申し送り事項

波長設定 1.2 \AA . ハズラシ.

スリット $W5H0.25$ 2nd 校正法 (c.f. p.127)

$1.196177(5) \text{ \AA}$

スリット $W10H1$ 2nd 校正法 (c.f. p.128)

$1.196099(5) \text{ \AA}$

ミウ - 水平位置. 角度調整をしてみた.

×. ずれたはず 1.2 \AA の目に 2- 最近に 1.42 の

小 1.2 は 1.4 ではない... (c.f. p.108 ~ p.112)

回転計の位置と角度の調整をしてみた. (c.f. p.113)

水平面内

+ p.118 ~ p.119

ミウ - 垂直位置. 角度調整をしてみた.

(c.f. p.114 ~ 117) (ミウ - は高 \rightarrow 浅い. 角度にずらして
水平方向に強く集束して)

4B211th 4 線端の 1.2 と 1.4 の位置を修正してみた.

平指回転計材料台用半割器具を修正してみた.

中心不完全のようだが. 5th に修正を試みる

予定 2nd (p.125 ~ p.126)

監視カメラ用モニタの状態は少し良く. t_2

よろしく (p.131)

部分の配線増設をしてみた. (p.132)

ア 1.2 の 1.4 は 1.2 (rel(111)) のまま.